

「まちの未来を拓け、鹿嶋神の道！」 ～郷土の魅力再発見。市民が誇りに思い慈しむ道づくり～

思い

軌跡



神の住むまちの入口、一之鳥居

「鹿嶋神の道」は、平成25年8月に「新・日本歩く道紀行100選:文化の道」に認定された

【主な活動実績】

- 平成22年3月 「鹿嶋再発見まち歩きツアー」開始
- 平成23年2月 「鹿嶋神の道運営委員会」設立
- 平成24年5月 「鹿嶋神の道ルート1:神の住むまち」オープン
- 平成28年5月 「鹿嶋神の道ルート2:剣聖の里」オープン
- 平成29年5月 「鹿嶋神の道ルート3:降臨の里」オープン

〔参考URL〕 <http://www.god-road.com>

鹿嶋神の道運営委員会 代表

西岡 邦彦



第4の柱を求めて

鹿嶋神宮、鹿嶋アントラーズ、鹿嶋製鉄所がまちの3本柱。しかし、経済の基盤である鉄鋼景気の停滞と若者離れで、まちの活気が次第に失われ、このままではジリ貧。第4の柱の育成が急務との危機意識を持った。

神の住むまちの価値再発見

鹿嶋は神の住むまちとして鹿嶋神宮を中心に悠久の歴史があり、北浦と太平洋に挟まれた豊かな自然がある。これらの資源を掘り起し、市民がその価値に目覚め、郷土愛を醸成できないかと考えた。

鹿嶋を知ろう！ 知ってもらおう鹿嶋！

まず、市民向けにまちの魅力を歩いて体感する「鹿嶋再発見まち歩きツアー」を立ち上げた。鹿嶋市全域を、毎月様々なルートで歩くことで、市民にまちの魅力を再認識してもらった。次には、市内外の人に鹿嶋の魅力を知ってもらおう本格的なウォーキングコース「鹿嶋神の道」づくりに着手した。

第4の柱に向かって

「鹿嶋神の道」は鹿嶋の未来に向かって伸びていく。水郷を囲む自治体と連携し、コースを拡充、日本文化遺産化を目指す。

鹿嶋人が誇りに思い慈しむ第4の柱のために…



神々しい鹿嶋神宮の樹叢



こころの故郷、三社詣りの古道



鹿嶋神の道の代表 西岡 邦彦